

お客さま 各位

釧路信用金庫

令和3年度地域密着型金融の取組状況について

令和3年度地域密着型金融の取組状況について以下のとおりご報告いたします。

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

(1) 創業期・新規事業展開期における支援

- ◎新規創業支援について、全店での取扱は55件、544百万円の実績となりました。
- ◎新事業展開時における各種補助事業等の申請支援や、公的機関の支援コーディネートにも積極的に取り組んでおります。

(2) 成長期における支援

- ◎成長期における支援について、ビジネスマッチングを中心に以下の取組みを行いました。
 - ①東北北海道「食ビジネスオンライン商談会」2022を共催しました。当金庫からは4事業者が参加し、ブランド力ある商品を百貨店・バイヤーにアピールすることができました。
 - ②公益財団法人北海道中小企業総合支援センターの全面協力の下、当金庫主催のビジネスマッチングイベントを実施しました。バイヤーとして伊藤忠商事やコープさっぽろが参加し、Zoomを活用した商談を行い、当金庫からは5事業者が参加しました。
 - ③商工組合中央金庫が主催する「海外販路創出オンラインビジネスマッチング」に、当金庫も連携事業の一環として参加しました。当金庫からは輸出に興味を持つ3事業者が参加し、既に具体的な商談に入る事業者もおりました。

(3) 経営改善期における支援・事業再生期における支援

- ◎営業店と企業支援グループが連携した企業支援活動
営業店や業務部に設置されている企業支援グループが中心となり改善計画の進捗状況の管理や経営指導・アドバイス等を行いました。
- ◎認定支援機関との連携
経営改善支援の実効性向上を図るため、認定支援機関との連携により経営改善計画策定支援事業の活用に取り組みました。

(4) 事業承継期における支援

一般社団法人しんきん事業承継支援ネットワーク（旧名称：一般社団法人北海道事業承継センター）や中小企業基盤整備機構との連携により、事業承継個別相談会を開催し、経営者の皆さまの相談に対応いたしました。

(5) 新型コロナウイルス感染症の影響を受けているお客さま支援

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けているお客さまに対し、金庫一丸となって各種支援を実施しました。具体的には企業支援プロジェクトチームと営業店が連携し、事業再構築補助金の申請支援を実施した他、「緊急事態宣言の影響緩和に係る一時支援金」や「事業復活支援金」の周知および申請支援に積極的に取り組みました。

2 地域の面的再生への積極的な参画

(1) 地域全体の活性化、同時的・一体的な「面的再生への取組

令和3年11月17日(水)、当金庫は「鶴居村との包括連携および協力に関する協定の」を締結しました。本協定は鶴居村と協力し、地方創生の推進や地域経済の活性化、地域の課題解決を図ることを目的に締結したものです。

連携の実効性を高めるために、本店営業部に設置したお客様相談室を活用したWEB相談が可能な体制を構築しました。また、新型コロナウイルス感染症の影響で牛乳や乳製品の需要が落ち込み、年末年始には5千トンもの牛乳が廃棄される懸念があったことから、鶴居村から乳製品を購入し、消費拡大に向けた機運を高める支援も実施しました。

(2) 地域活性化につながる多様なサービスの提供

地域の活性化に向け、以下の取組みを推進しました。

◎お取引先に対して各種補助事業などの情報提供及び支援を行いました。

◎釧路しんきん地域貢献表彰制度において、「新技術奨励賞」と「地域貢献奨励賞」、「地域のブランド化推進奨励賞」、「学生研究奨励賞」として、以下の方々を表彰しました。

【新技術奨励賞】

株式会社リバーサー (代表取締役 松田 英照氏)

鮮魚の高鮮度保持のため、魚の「胃洗浄」器具“Re:verser (リバーサー)”を、行政・工業技術センター・企業等協力の下、開発・販売。スムーズな排水機能“リバースシステム”という強力な洗浄効果により、ホースでは落としきれない汚れ・胃液を落とす。釧路発の新しい鮮度保持技術として全国に普及すべく活動しており、胃袋洗浄による実証効果と、その独創的なアイデアが高く評価され受賞となった。

【地域貢献奨励賞】

釧路鳥取てらこや (代表 大越 拓也氏)

地域全体で子どもを育む“地育”をモットーに、毎週土曜日に市内の子ども達を対象に、学習サポート・多世代交流・相談支援活動を行う。子供たち自身がルールを決め、自主的に勉強・掃除を行い、協力して学び・遊ぶことで、協調性や社交性を高め、またサポート・ボランティアをする大人や先輩・地域との結びつきを深めることを目的としている。地域主体で子ども達の学力向上と人格形成のために尽力しているその活動実績が高く評価され受賞となった。

富士見坂キンレンカの会（代表 吉田 信二氏）

富士見坂の花壇に釧路市民の花【キンレンカ】をボランティアで植栽、維持管理をしている。キンレンカは黄色・オレンジであり、“夕日・釧路”にもマッチする。種を無償で配布するなど市民に対し普及活動をしており、また観光客の目を楽しませるおもてなし効果も期待できる。釧路の花キンレンカに着目し、その普及活動に尽力している独自性等が評価され受賞となった。

さわやか健康サロン（会長 高辻 邦子氏）

2007年に春採地区の住民の集いの場として設立。ストレッチ、脳トレ等の健康体操・運動に加え、誕生日会やカラオケ大会などを行い、会員相互で楽しむ場所を提供することを目的としている。地域住民主体の会として高齢者の繋がりを大事にし、楽しい場所提供して健康維持活動を普及している地域性あふれる活動内容が評価され受賞となった。

【学生研究奨励賞】

釧路工業高等専門学校 ゲーム開発研究部

くしろプライド鮮魚～地元の魚をもっと知ってもらうためのアプリ開発～

釧路市水産課において釧路の魚のPR活動（プライド鮮魚）を行っているが、地元の小中学生に釧路の魚を知ってもらおうと、施設展示用のクイズ形式ゲームアプリの作成依頼を受け、本研究部が開発した。地域の魅力を子供たちに普及させるためのシステム開発への取組みが評価され受賞となった。

釧路短期大学 スポーツ栄養学ゼミ（代表 佐藤 恭氏）

氷都くしろにおけるアイスホッケー選手の栄養サポート

～コロナ禍におけるICTを活用した栄養サポートの試み～

高校アイスホッケー選手と保護者を対象に、ICT（動画やビデオ通話等）を活用した栄養指導を試み、選手の食に対する意識や行動の変化を調査し、地元選手への効果的な栄養指導方法を検討している。【アイスホッケー】という対象に絞った栄養指導という面でユニークであり、その独自性・地域性が評価され受賞となった。

3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信

◎ 「金融教育講座」の実施

◎ ディスクロージャー誌、PR誌による積極的な情報発信

平成5年より「ディスクロージャー誌」を発行し、当金庫の業務や職員の紹介、地域情報などを発信しています。

◎ ホームページによるタイムリーな情報発信

商品情報やセミナーの開催情報など、様々な情報をわかりやすく発信しています。

以 上